

科目ナンバリング		U-LAS04 10003 LJ47									
授業科目名 <英訳>		教育学II Pedagogy II				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 久保田 健一郎			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	木3		配当学年	全回生	対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]											
本授業は、学校教育より広い範囲で教育を捉え、幼児期の教育、少子化問題、親になること、児童虐待、子どもの貧困、科学の進歩と子育て、生殖と出産など幅広いテーマを学んでいく。その際に教育人間学のアプローチを採用する。教育人間学とは、教育に関して自明に思われていることを、その根底から疑って考察するものである。こうしたアプローチによって、教育に関する事象をより深く理解することができる。											
[到達目標]											
・教育のみで人間の成長を考える限界と、人間形成論の可能性を理解する。 ・各テーマについてその現象と背景について理解する。											
[授業計画と内容]											
基本的に以下の計画に従って授業を進めるが、講義の進行具合によって、講義回数が異なることがある。 1. 教育から人間形成へ 2. 幼児教育のアクチュアリティ 3. 少子化問題の人間学 4. 3歳児神話という思想 5. 親になること① ある事例の紹介 6. 親になること② 父親の子育て・母親の子育て 7. 児童虐待 8. 子どもの貧困 9. 施設で育つ子どもたち 10. 科学の進歩と子育て① ある事例の紹介 11. 科学の進歩と子育て② 優生学と現代社会 12. 生殖と出産の人間学 13. 母子保健の思想史 14. 地域社会と子育て 15. フィードバック（フィードバック方法は別途連絡します） 授業回数はフィードバックを含め全15回とする											
[履修要件]											
特になし											
----- 教育学II(2)へ続く ↓ ↓ ↓ -----											

教育学II(2)

[成績評価の方法・観点]

平常点（50点）と期末レポート（50点）で評価します。平常点は課題提出（25点）と授業への参加度（25点）に応じて評価します。期末レポートは、到達目標の達成度に基づき評価します。期末レポート提出のみで単位が出る授業ではないことを理解した上で、受講して下さい。

[教科書]

LMSに授業資料を提示します。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

日頃から教育のみならず、幅広く社会問題に興味を持つことが最大の予習です。復習は紹介した参考文献などから、各自深めていってください。

[その他（オフィスアワー等）]

授業内容に関心がある方のみ受講して下さい。例年、履修者が多く、抽選になりやすい授業ですので、単位取得のみに関心がある学生の受講はご遠慮ください。
授業方法に関しては、講義が中心になりますが、映画鑑賞、グループワーク、課題提出を織り交ぜた授業になります。

[主要授業科目（学部・学科名）]